

◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザ及び小児科定点把握感染症は前週までと比べて大きな変化はありません。
- ・ **新型コロナウイルス感染症**を広げないために、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策が重要です。
 - ・ まめに手を洗いましょう。石けんを使い、流水でよくすすぎましょう。
 - ・ 新型コロナウイルスに限らず、病原体は主に口・鼻・目から体に入ります。外出後や咳の後は特に、口・鼻・目に触る前に手洗いを徹底しましょう。
 - ・ 自分が感染者の場合、咳やくしゃみを手で押さえると、手で触ったものにウイルスが付き他の人にうつす可能性があります。口や鼻をティッシュで覆うなど、咳エチケットを守りましょう。急に咳が出てしまう時は、しぶきが飛ばないように服の袖や肘を使いましょう。
 - ・ 屋内でのちょっとした会話を含め、「人との接触を8割減らす」ことで感染拡大が防げるとされています。
 - ・ 3密(換気の悪い密閉空間, 多人数の密集, 近距離での会話(密接)が同時に重なる場所)は特に避けましょう。

詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「【緊急情報】新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000266590.html>

◆ 今週のトピックス: <風しん>

風しんの昨年の報告数は全国で2,306例となり、男性は1,805例、女性は501例でした。報告された患者の95%が成人で、中でも40歳代男性の比率が非常に高くなっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 59例(肺結核 34例, その他結核 4例, 潜在性結核感染者 21例)うち喀痰塗抹陽性 14例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.46	32
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.33	57
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	36
	③ 突発性発しん	0.26	11
	④ 水痘	0.16	7
	⑤ 咽頭結膜熱	0.14	6
	⑤ 伝染性紅斑	0.14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <風しん>

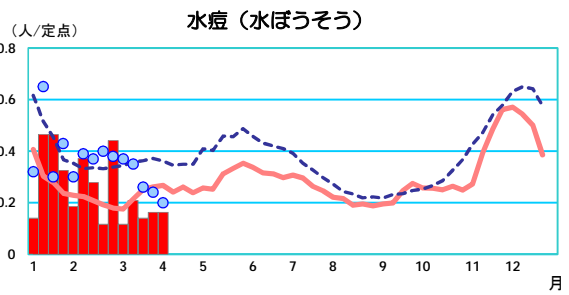
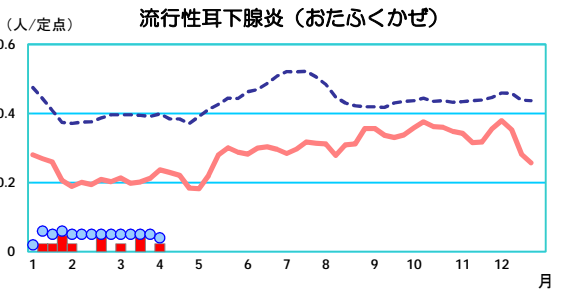
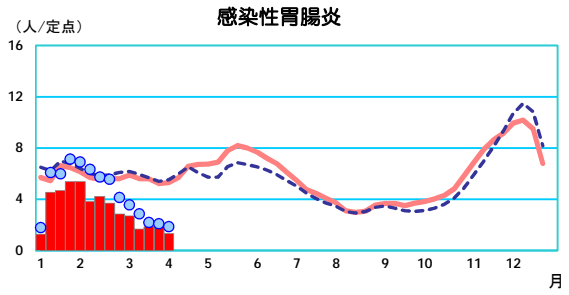
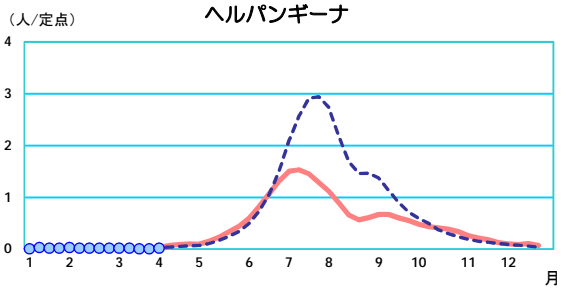
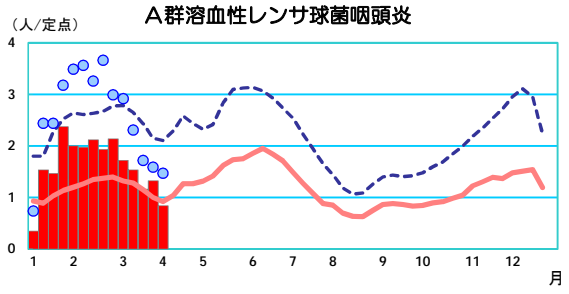
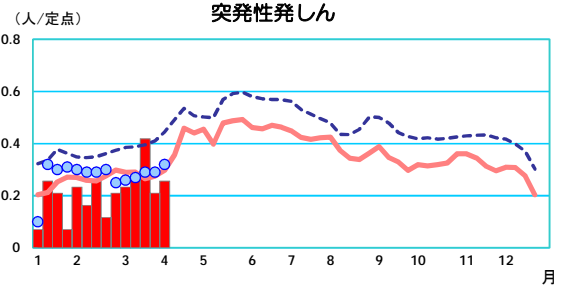
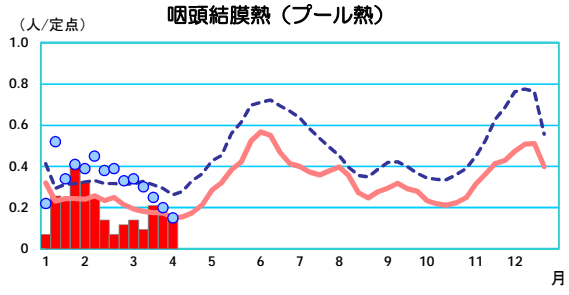
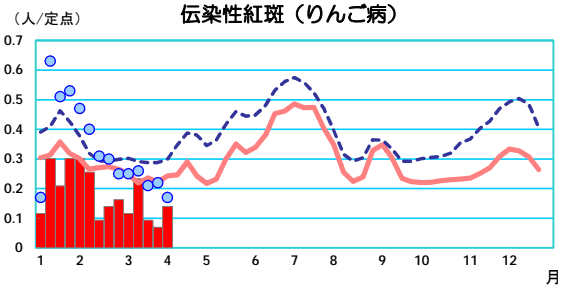
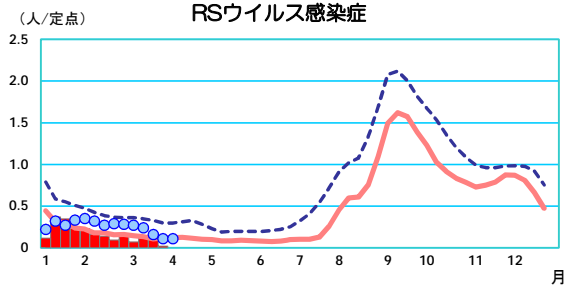
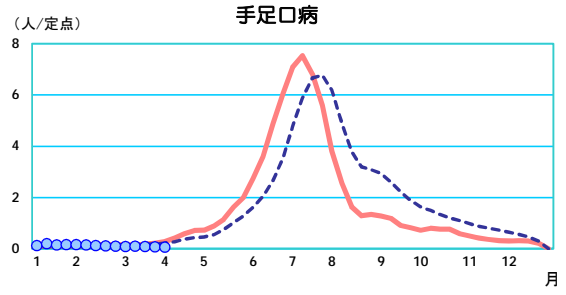
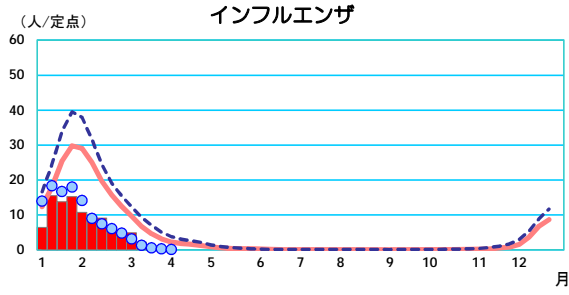
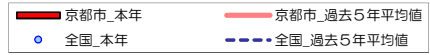
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2020年4月9日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



第14週(3月30日～4月5日)トピックス:<風しん>

風しんの昨年の報告数は全国で2,306例となり、男性は1,805例、女性は501例でした。

風しんは子どもの感染症というイメージがありますが、全国では報告された患者の95%が成人です。また性別では、男性が女性の3.6倍で、中でも40歳代男性の比率が非常に高くなっています(図1)。

風しんは、感染力の強い風しんウイルスが飛沫(唾液のしぶき)などによって他の人に感染し、発熱・発疹などの症状を引き起こします。とくに妊娠初期の妊婦さんが感染すると、胎内の赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなどの重い症状を呈する「先天性風しん症候群」にかかるリスクがあります。予防にはワクチン接種しかありません。

国立感染症研究所が発表している、「年代別で見る風しんの予防接種制度の変遷」(図2)によると、昭和37年(1962年)4月2日～昭和54年(1979年)4月1日生まれの男性は制度上、定期接種の機会がなかったため、抗体を持っている人は約80%と他の年代よりも低くなっています。これが40歳代男性の患者報告数の比率が高くなっていることにつながっています。この年代よりも前に生まれている人は、ワクチンの接種はしていませんが、風しんが頻繁に流行していたため、自然罹患によって抗体を持っていることが多く、報告数が少なくなっています。20歳代から30歳代にも報告数が多いのはワクチン接種が1回であったため、年月を経て抗体価が低くなってしまっていることが考えられます。

そこで京都市では、一度もワクチン接種する機会がなく、抗体保有率の低い、上記期間に生まれた男性に対し、2022年3月31日まで、風しんの抗体検査と、風しんの第5期定期予防接種を原則無料で実施しています。3月下旬からは対象者のうち**昭和41年(1966年)4月2日から昭和47年(1972年)4月1日生まれの方に、受診した窓口での負担が無料となるクーポン券を送付しています。**対象の方は、自分のためにも、周りの人のためにも積極的に抗体検査を受けてください。今回の対象者に送付した**クーポン券の有効期限は2021年3月31日**までです。

詳しい情報を京都市のホームページでも案内しています。下記URLをご参照ください。

○<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000248959.html> (風しんの追加的対策(抗体検査・定期予防接種)について)

また京都市では妊娠を希望する女性等を対象とした、風しん抗体検査の助成・風しん任意予防接種の一部公費負担も継続して行っています。下記URLをご参照ください。

○<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000163145.html>

京都いつでもコール TEL(075)661-3755 でも問い合わせを受け付けています。

図1 全国の性別、年齢階級別の報告数(2019年)

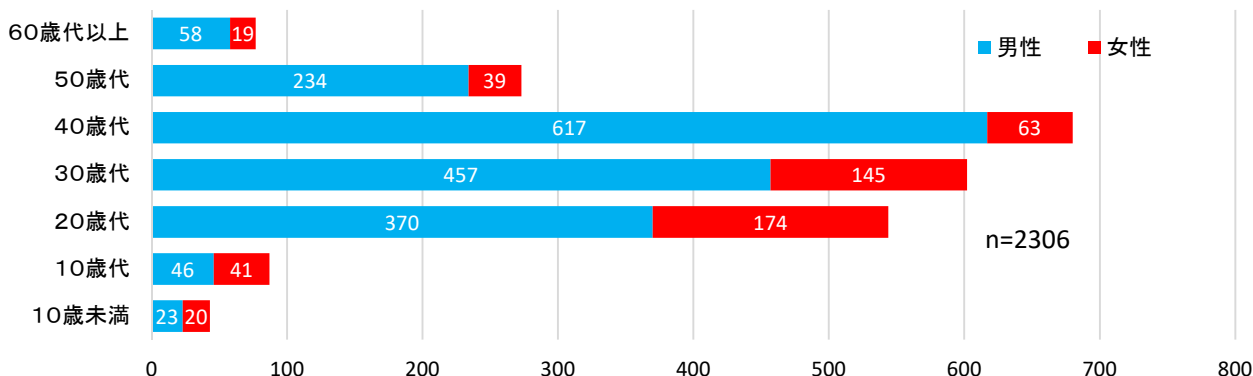
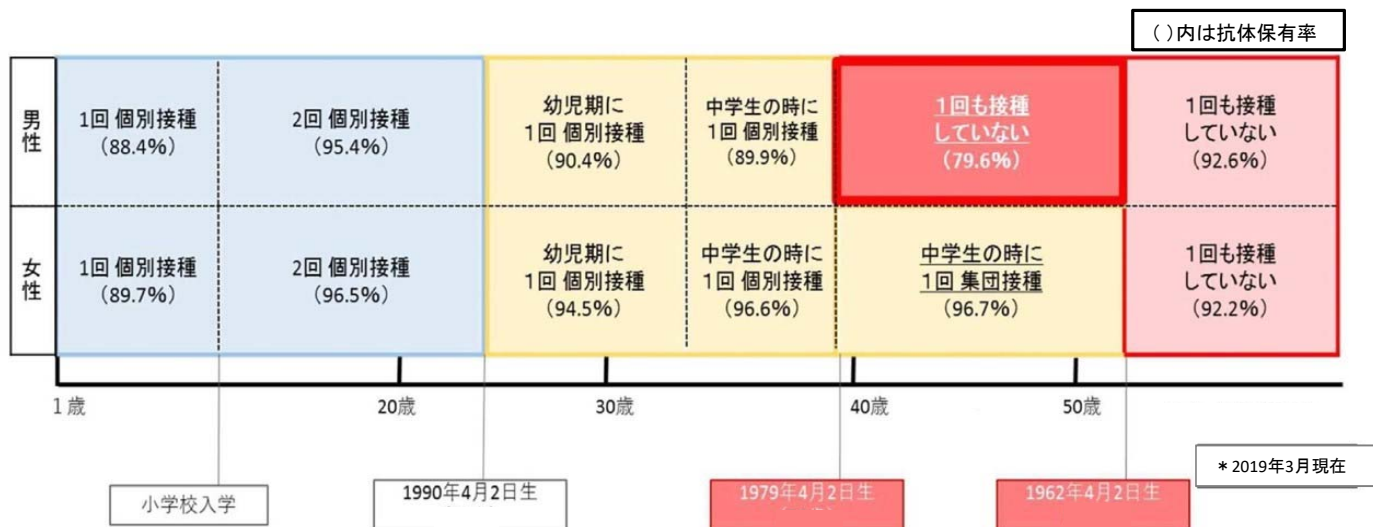


図2 年代別で見る風しんの予防接種制度の変遷



【出典】国立感染症研究所「年齢/年齢群別の風疹抗体保有状況」2013-2017年をもとに算出(10歳以下のみ2017年のデータで計算)

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第14週

疾病,行政区別報告数

2020年3月30日～2020年4月5日

データ入手日:2020年4月9日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-					
左京	7	-	-	1	2	2	1	-	1	-	-	-	-					
中京	-	-	1	3	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-							
山科	1	-	1	8	2	-	-	3	2	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-							
南	1	-	-	-	10	-	-	1	-	-	-							
右京	4	-	-	8	7	4	-	-	-	-	-	-	1					
伏見	15	-	3	10	23	1	-	-	4	-	-	-	-					
西京	1	-	-	4	4	-	-	-	3	-	1	-	-					
京都市計	32	-	6	36	57	7	1	6	11	-	1	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	0.20	-	0.33	0.33	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-					
左京	1.00	-	-	0.25	0.50	0.50	0.25	-	0.25	-	-	-	-					
中京	-	-	0.33	1.00	1.00	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	2.00	-	-	-	-	-	-							
山科	0.14	-	0.20	1.60	0.40	-	-	0.60	0.40	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-							
南	0.20	-	-	-	3.33	-	-	0.33	-	-	-							
右京	0.50	-	-	1.60	1.40	0.80	-	-	-	-	-	-	1.00					
伏見	1.36	-	0.43	1.43	3.29	0.14	-	-	0.57	-	-	-	-					
西京	0.13	-	-	0.80	0.80	-	-	-	0.60	-	0.20	-	-					
京都市計	0.46	-	0.14	0.84	1.33	0.16	0.02	0.14	0.26	-	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第14週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年3月30日～2020年4月5日

データ入手日:2020年4月9日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	32	-	-	3	6	4	2	2	4	2	1	-	1	1	2	3	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		6	-	1	1	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	-	-	4	7	4	6	3	5	-	1	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		57	2	6	8	7	5	7	8	2	3	-	4	1	-	4	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		6	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	3	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.46	-	-	0.04	0.09	0.06	0.03	0.03	0.06	0.03	0.01	-	0.01	0.01	0.03	0.04	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.14	-	0.02	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.84	-	-	0.09	0.16	0.09	0.14	0.07	0.12	-	0.02	0.02	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.33	0.05	0.14	0.19	0.16	0.12	0.16	0.19	0.05	0.07	-	0.09	0.02	-	0.09	-	-	-	-	-	-
水痘		0.16	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.14	-	-	-	-	-	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.26	-	0.07	0.14	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第14週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年4月9日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	364	337	155	73	47	32
RSウイルス感染症	7	3	5	5	1	-
咽頭結膜熱	5	6	4	9	7	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	92	74	66	50	57	36
感染性胃腸炎	123	116	72	80	77	57
水痘	19	5	9	6	7	7
手足口病	2	4	3	-	1	1
伝染性紅斑	7	5	10	4	3	6
突発性発しん	9	10	12	18	9	11
ヘルパンギーナ	-	-	-	1	1	-
流行性耳下腺炎	-	1	-	2	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	1	-	1	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	628	561	337	248	211	158

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	5.28	4.88	2.25	1.06	0.68	0.46
RSウイルス感染症	0.16	0.07	0.12	0.12	0.02	-
咽頭結膜熱	0.12	0.14	0.09	0.21	0.16	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.14	1.72	1.53	1.16	1.33	0.84
感染性胃腸炎	2.86	2.70	1.67	1.86	1.79	1.33
水痘	0.44	0.12	0.21	0.14	0.16	0.16
手足口病	0.05	0.09	0.07	-	0.02	0.02
伝染性紅斑	0.16	0.12	0.23	0.09	0.07	0.14
突発性発しん	0.21	0.23	0.28	0.42	0.21	0.26
ヘルパンギーナ	-	-	-	0.02	0.02	-
流行性耳下腺炎	-	0.02	-	0.05	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	0.10	-	0.10	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	11.41	10.09	6.56	5.13	4.57	3.47

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。